

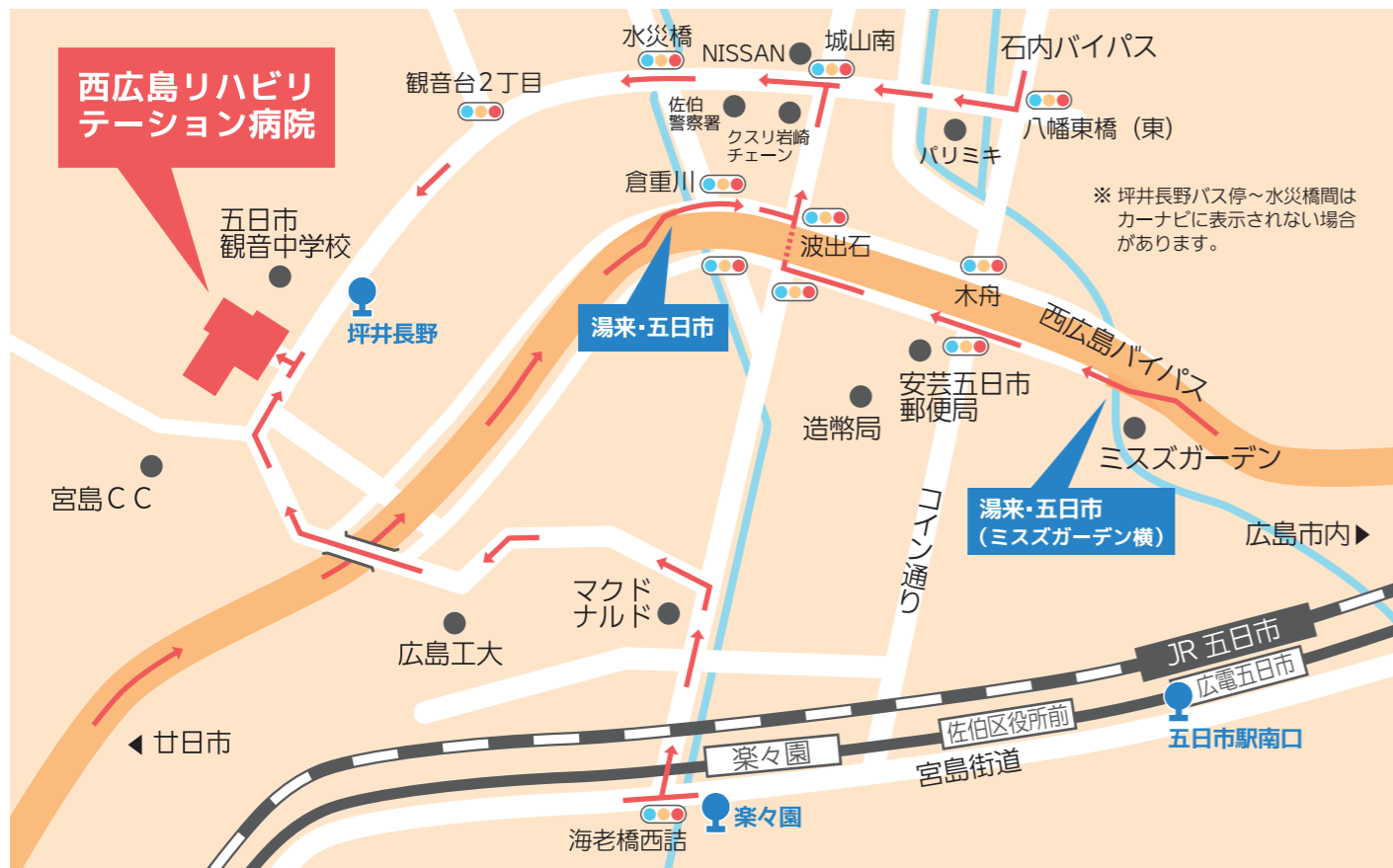


医療法人社団 朋和会

西広島リハビリテーション病院

回復期リハビリテーションのご案内

2023.7



車で来られる場合

広島方面 から

- ① 西広島バイパスを湯来・五日市で降りる (ミスズガーデン横)
- ② 波出石：右折 → 城山南：左折 → 水災橋：直進
- ③ 病院入口にある看板の向こう側を右折

石内バイパス から

- ① 八幡東橋 (東)：右折 → 城山南：直進 → 水災橋：直進
- ② 病院入口にある看板の向こう側を右折

廿日市方面 から

- ① 西広島バイパスを湯来・五日市で降りる
- ② 波出石：左折 → 城山南：左折 → 水災橋：直進
- ③ 病院入口にある看板の向こう側を右折

国道 2 号線 (宮島街道) から

- ① 海老橋西詰を湯来方面へ → 左手にマクドナルドが見えたら次の角を左折
- ② バス通りを直進、バイパス上の橋を渡る
- ③ 看板に従って右折 → 病院の看板前を左折

公共のバスを利用される場合

JR 五日市駅から

広電バス「東観音台行」
 五日市南口 → 坪井長野 (所要時間：約 15 分)

広電 楽々園から

広電バス「東観音台行」
 楽々園 → 坪井長野 (所要時間：約 10 分)



医療法人社団朋和会
西広島リハビリテーション病院

ホームページをご覧ください

西広島リハビリ 検索



〒731-5143 広島市佐伯区三宅 6 丁目 265 番地

☎ (082) 921-3230 (代表番号)

FAX (082)921-3237 E-mail wel@welnet.jp
 URL https://www.welnet.jp/



(財) 日本医療機能評価機構 認定病院

NISHI HIROSHIMA REHABILITATION HOSPITAL



私たちは、“患者さんが主役”の リハビリテーションを目指します

法人
基本理念

「信じ合い、明日を拓く」

病院
運営理念

に ニーズに合わせ、患者さんの主体性を尊重します。

患者さんの人格と権利を尊重し、患者さんやご家族のご意見ご希望を大切にしたい目標に向け、リハビリテーションを実践します。

し 信頼と連携を大切にします。

患者さん・ご家族とのコミュニケーションを大切に、信頼され納得される情報の提供を行います。また、急性期～回復期～生活期の質の高いリハビリテーションの連携を目指します。

り リハビリテーションの地域支援を行います。

朋和会の各種リハビリテーションサービスを施設内外へ充実させます。また、地域リハビリテーション活動を通して地域医療へ貢献します。

は 早く家庭へ、うまく社会へーが目標です。

リハビリテーションにより新しい生活スタイルを確立し、退院後も安心できる在宅復帰と社会参加を目指します。

へ 笑顔の生まれるリハビリテーションを目指します。

患者さんの笑顔、ご家族の笑顔、職員の笑顔が生まれるリハビリテーションを目指します。

回復期リハビリテーション 病棟とは

西広島リハビリテーション病院は、リハビリテーションを専門に行う病院です。すべての病棟が回復期リハビリテーション病棟となっております。

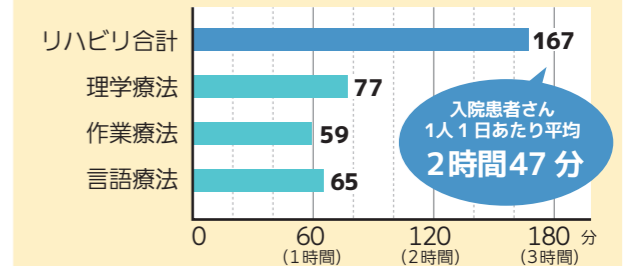
ここでは、脳卒中や大腿骨の骨折などで治療を受けた患者さんが、その後日常生活に戻るために、集中的なリハビリテーション訓練を行います。患者さんが日常生活に必要な動作能力を向上させ、寝たきりにならず、家庭へ社会へと復帰されますことを目標としています。

できるだけ早期から 集中的・効果的なリハビリを

発症後早くから多くの量のリハビリを集中的に行うことで、より身体機能・認知機能の改善度が高くなることが分かっています。このため回復期リハビリテーション病棟では、できるだけ早期から集中的なリハビリテーション医療を行います。

当院では、急性期病院との医療連携による早期受け入れを行い、休日も含め 365 日毎日リハビリテーションを行っています。また、多くの専門職がチームを作り、きめ細かなリハビリテーション訓練計画を立て、患者さんの状態に合わせた訓練を提供しています。

当院における 患者1人1日あたりのリハビリ実施時間



※ 2022年1月～12月の退院患者536名を対象
言語療法については言語療法対象者(247名)で計算



リハビリ訓練室での歩行訓練



ご家族への介助指導

病院概要

開設： 昭和 61 年 11 月 4 日

診療科目： リハビリテーション科・内科・
整形外科・脳神経外科

病棟数：3病棟 病床数：139床

- ・本館1階… 37床 回復期リハビリテーション病棟(1)
- ・本館2階… 52床 回復期リハビリテーション病棟(1)
- ・西館2階… 50床 回復期リハビリテーション病棟(1)

回復期リハビリテーション病棟(1)とは、入院患者の重症者の割合と、退院在宅復帰の率について適合しているものとして厚生労働大臣が定めた基準です。

リハビリテーション施設：

- ・脳血管疾患等リハビリテーション(1)…専用面積 789.5 平方メートル
- ・運動器リハビリテーション(1) …専用面積 731.0 平方メートル
- ・集団コミュニケーション療法 …専用面積 18.3 平方メートル

認定等：

- ・日本医療機能評価機構認定病院
リハビリテーション病院 3rdG:Ver.2.0
付加機能 (リハビリテーション機能 Ver.3.0)

病院機能評価は、適切な医療を安心して受けることができるように、公正な立場の第三者が多方面に渡って医療機関の評価を行うものです。現在、全国の約 3 割の病院が活用しています。リハビリ関連の認定を 2 種類とも受けている病院は全国でも少数です。

- ・回復期リハビリテーション病棟協会会員施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・リハビリテーション科専門医 (4名)

リハビリテーション(1)とは、経験を有する専任の医師と手厚いリハビリ職員の配置、十分な施設や機器の配置を厚生労働大臣が定めた基準です。

2023.7.1 時点



SMART NIRS による解析画面
(イメージ)



さまざまな技術を取り入れて 毎日リハビリ訓練をしています

KINECT を用いた 関節可動域測定装置

Microsoft KINECT (キネクト) は、人の動きを認識し、データとして取り込むシステムです。当院は地元五日市の IT 企業であるシステムフレンドと協力し、KINECT を使って患者さんの関節可動域 (関節をどのくらい動かせるかということ) を測定する装置の共同開発を行いました。これは「MMV 鑑-AKIRA-」として商品化され、当院でも使用しています。臨床で簡単に撮影・再生でき、画面を用いることで患者さんに分かりやすく説明できるツールとなっています。



MMV 鑑-AKIRA- の画面
(第二種医療機器製造販売許可製品)

SMART NIRS (近赤外光イメージング装置)

平成 26 年 10 月より、近赤外光を用いて脳の活動を計測する装置「SMART NIRS (スマートニルス)」を導入しました。MRI 装置などに比べ機器が小型で、被験者が動いていても計測可能であるため、運動中の脳の機能をリアルタイムで解析できるのが大きな特徴です。今後、さまざまな場面でリハビリ効果の確認や治療方針の検討などに役立てることが期待されています。

神経学的音楽療法

神経学的音楽療法は、音楽の持つ力 (生理的効果・心理的効果・認知的効果・身体的効果・社会的効果) を用いて、機能回復・活動の向上・維持を目的に行う治療法です。具体的には、音楽を用いた覚醒訓練、リズム歩行訓練、音楽的発話刺激訓練、音楽を用いた半側空間無視・注意訓練などがあります。



神経学的音楽療法

ロボットを応用した訓練

近年はロボット技術が進み、リハビリや福祉分野での応用が始まっています。当院では上肢訓練や歩行練習に取り入れています。

ReoGo® -J

脳や脊髄の疾患により腕や手が動かしにくい方のリハビリに使用します。画面に表示されるポイントをなぞるようにアームを動かすことで、さまざまな腕の動きを反復訓練できます。患者さんの状態に合わせてモードを設定します。



ReoGo®-J

RE-Gait®

足関節の背屈 (つま先を上げる動き) や底屈 (地面を蹴り出す動き) をアシストすることで、ふくらはぎの筋肉を伸長させ、足の振出がスムーズになります。この機器を装着して歩行練習をすることで、歩行能力の改善を目指します。



RE-Gait®

Honda 歩行アシスト

腰部・大腿部に装着し、足の動きをアシストします。簡単に装着でき、場所を選ばずに使用できます。装着者の歩幅や歩行リズムを改善させることで、歩行能力を高める効果があるものと期待しています。



Honda
歩行アシスト

天井走行リフト

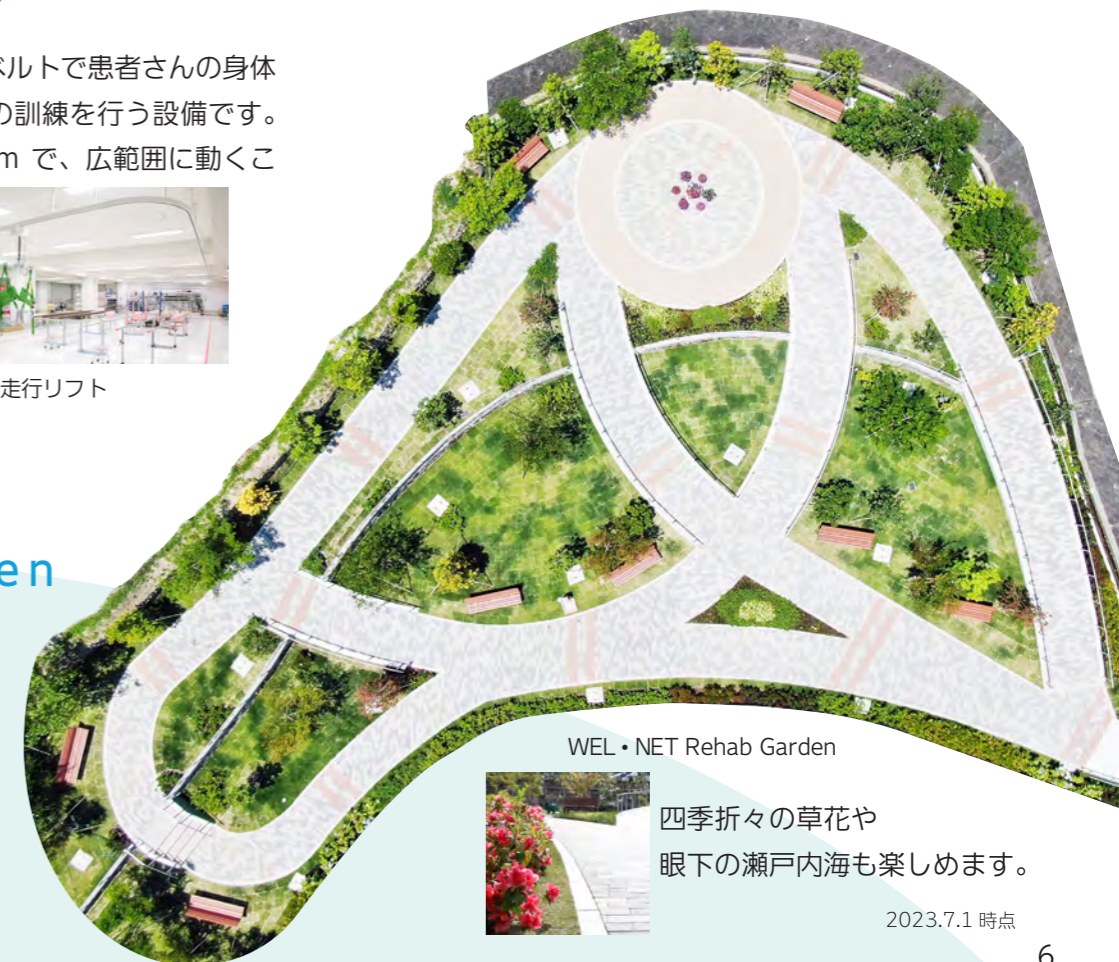
天井のリフトから下がったベルトで患者さんの身体を支えながら、歩行や動作の訓練を行う設備です。レール 1 周の長さは約 40m で、広範囲に動くことが可能です。訓練中の転倒防止に役立ち、難しい動作の訓練も安全に行うことができます。



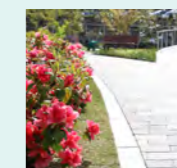
天井走行リフト

WEL・NET Rehab Garden (屋外歩行訓練施設)

バリアフリー法に基づいて設計された角度の違うスロープや階段を使用して、歩行訓練や介助指導が行える庭園です。



WEL・NET Rehab Garden



四季折々の草花や
眼下の瀬戸内海も楽しめます。

2023.7.1 時点

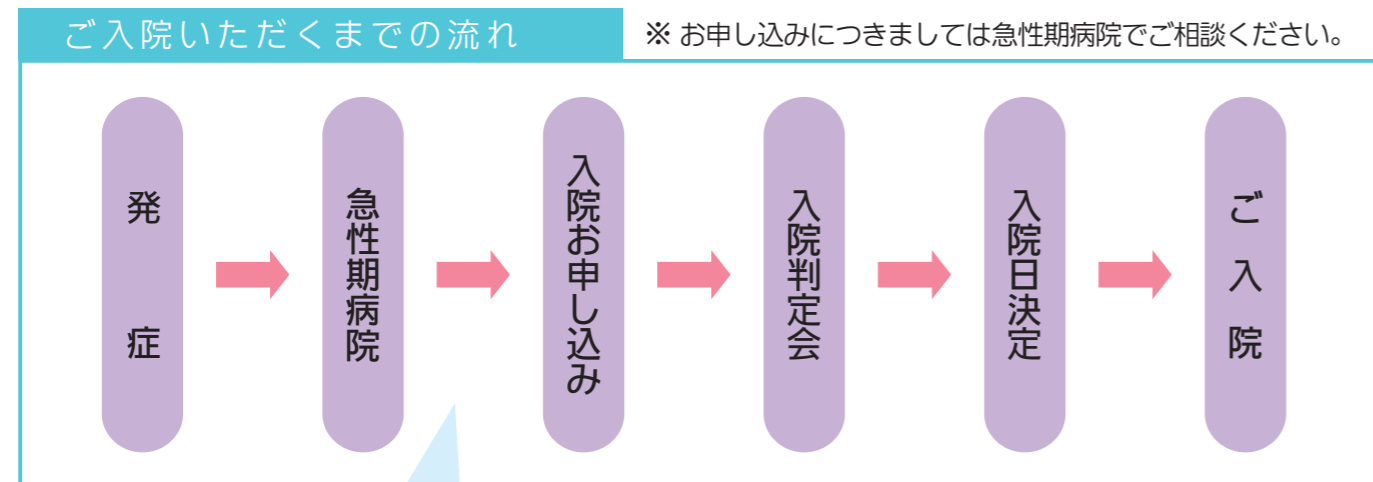
入院のご案内

下記の疾患の方が、ご入院対象となります。また、急性期病院での病名や治療内容により、回復期リハビリテーション病棟への入院期間が、厚生労働省より定められております。



当院の平均入院期間
 脳血管疾患 約 100日 運動期疾患 約 65日
※2021年4月～2022年3月

入院対象疾患	在院上限日数
<ul style="list-style-type: none"> 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等 義肢装着訓練を要する状態 	150日以内
<ul style="list-style-type: none"> 股関節または膝関節の置換術後の状態 外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有した状態 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節または2肢以上の多発骨折 	90日以内
<ul style="list-style-type: none"> 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷後の状態 	60日以内

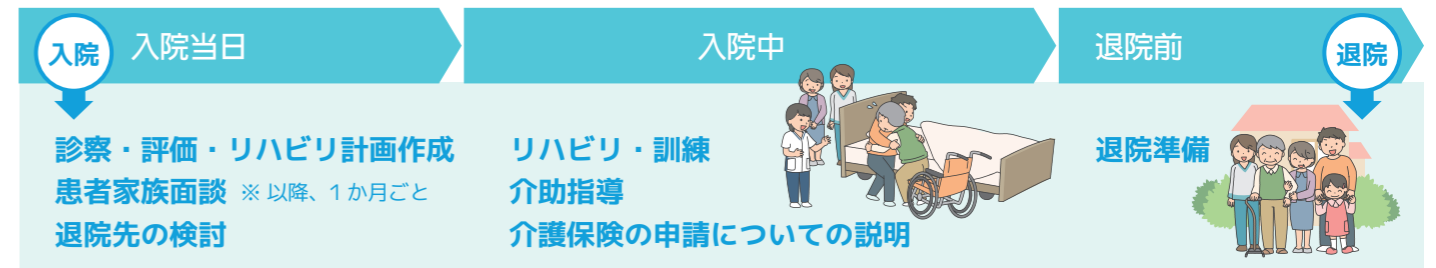


(病院1階受付内)
 お問い合わせ・ご相談は、地域連携室まで
☎ (082) 921-3230 (代表電話)
 FAX ☎ 0120-604532

地域連携室
 担当：岡・鈴木・東

- 入院のこと、リハビリのこと、入院費用のこと、退院後のリハビリのこと、介護保険のことなど、なんでも気軽にお尋ねください。
- 入院の支払いに各種クレジットカード、電子マネーが使えます。

入院から退院までの流れ



	患者さん・ご家族	病棟スタッフ
当日	<p>入院</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回 患者家族面談 リハビリテーション医、内科医による診察 看護、介護、リハビリスタッフによる身体能力と日常生活能力の評価 リハビリテーション計画作成・訓練開始 退院先の検討 	
翌日	<p>翌日から リハビリ・訓練開始</p>	<ul style="list-style-type: none"> ミニカンファレンス 担当スタッフ全員での入院時評価及び訓練目標の検討 <p>※ ミニカンファレンスは、2週間の変化をもとに訓練目標内容の修正などを行いながら退院まで繰り返し実施します</p>
2週間後	<ul style="list-style-type: none"> 入院時訪問 患者さんの生活の場を確認し、患者さんに応じたリハビリ計画を立てていく 第2回 患者家族面談 	<ul style="list-style-type: none"> チームカンファレンス 担当チームメンバーでの長期目標・方針の決定
	<p>患者家族面談 月1回</p> <p>方針等を記入したリハビリテーション総合実施計画をもとに、主治医・病棟スタッフがご本人・ご家族と面談し、現状の説明や長期目標、今後の方針の説明を行います。分からない点があれば、遠慮なくどんどん質問してください。</p>	

生活そのものがリハビリです

患者さん・ご家族が行うリハビリです

入院中

患者さん・ご家族

病棟スタッフ

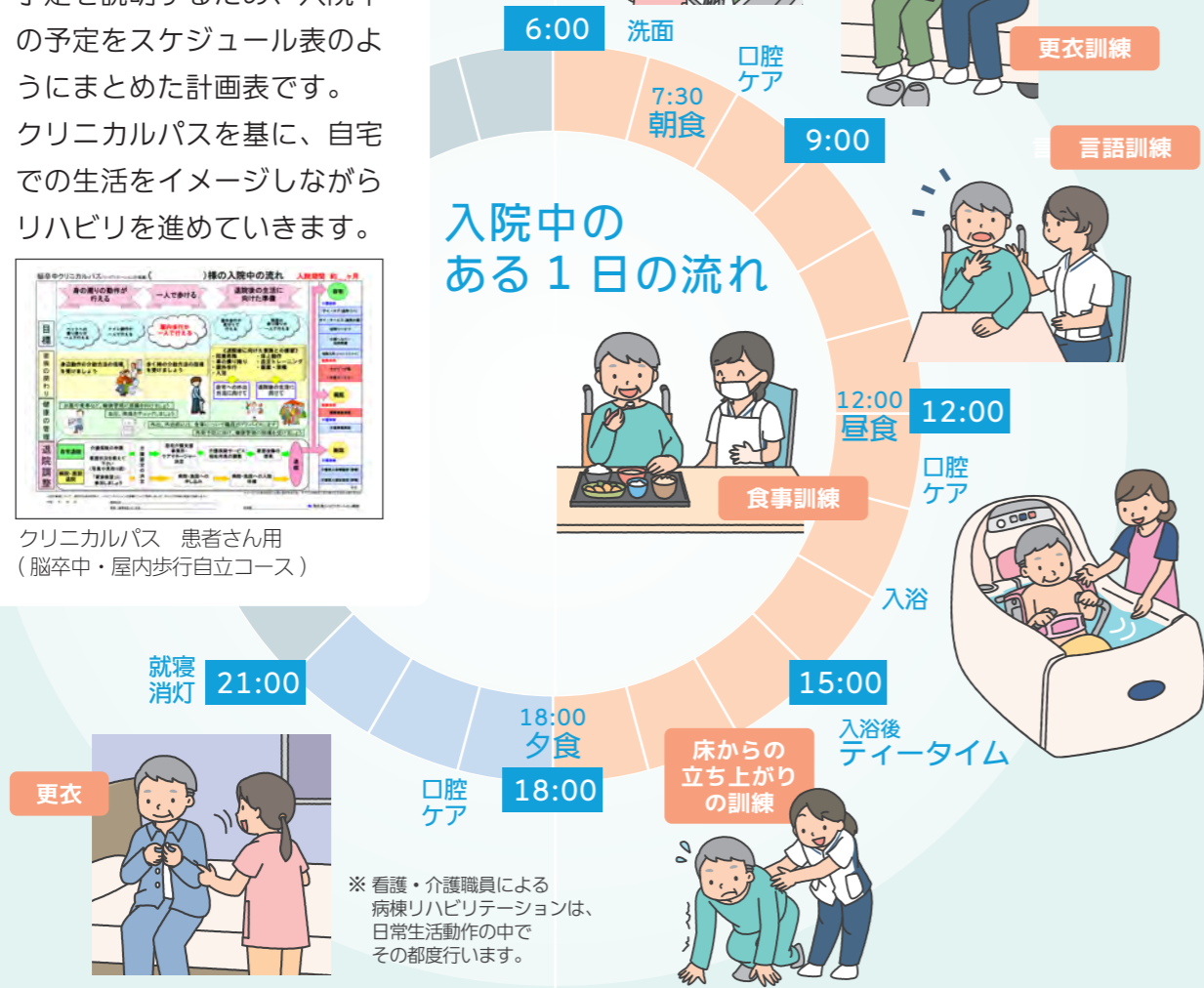
クリニカルパス

入院中のリハビリや治療の予定を説明するため、入院中の予定をスケジュール表のようにまとめた計画表です。クリニカルパスを基に、自宅での生活をイメージしながらリハビリを進めていきます。



クリニカルパス 患者さん用 (脳卒中・屋内歩行自立コース)

入院中のある1日の流れ



※看護・介護職員による病棟リハビリテーションは、日常生活動作の中でその都度行います。

退院後の生活をサポートするイベント

※感染対策のため、オンライン開催等となっている場合があります。

月4回
西リハ家族教室



入院患者さんのご家族を対象に、退院後の健康管理や介助の方法、介護保険についてなどのお話をします。

2カ月に1回
メイプルクラブ

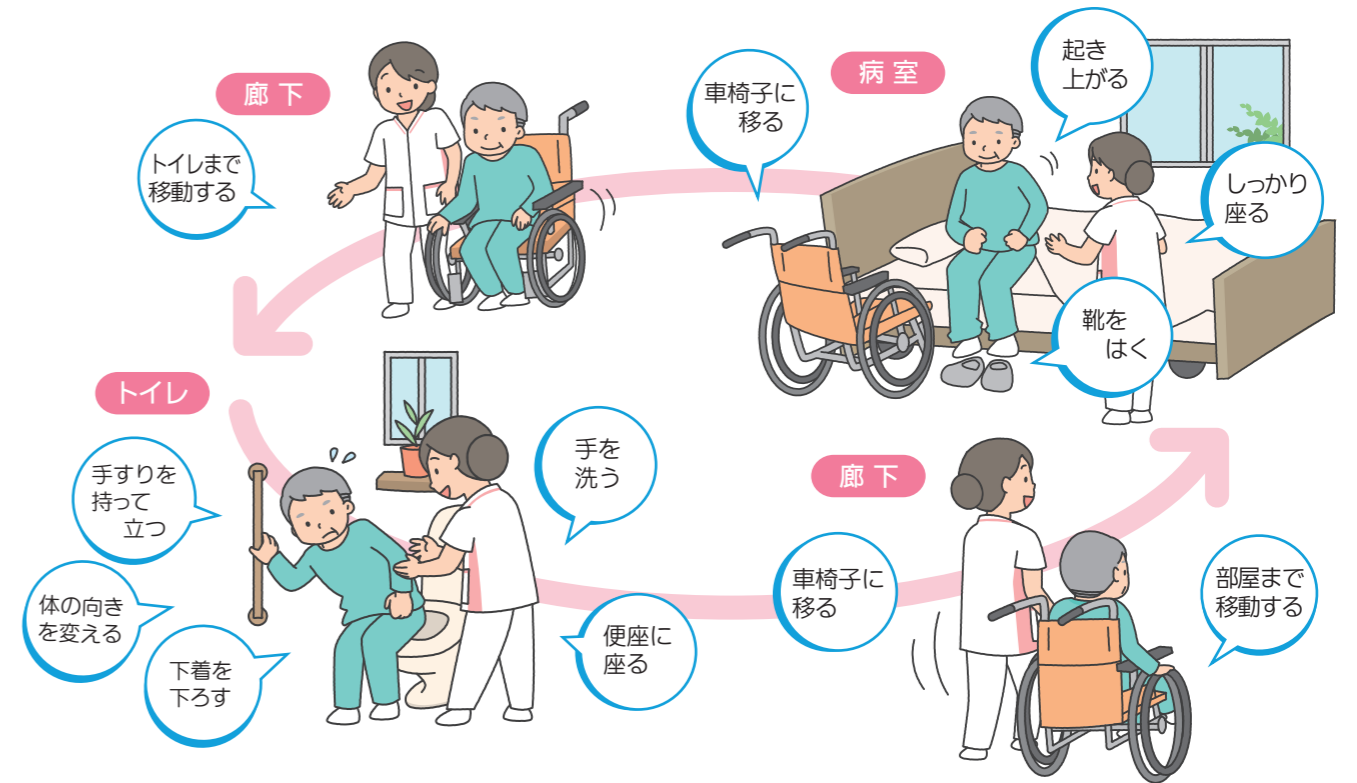


失語症の入院患者さん・ご家族の皆さんと、退院されご家庭で生活されている皆さんとの交流の場です。

自宅退院へ
向けての
目標の目安

- 1人でトイレに行けること
- 家族とコミュニケーションがとれること
- 口から食べられること

たとえば、「トイレに行く」という動作1つをとっても、実際にはこのような部分的な動作・一続きの動作を繰り返し練習する必要があります。このため、病院施設全体をさまざまな訓練の場所として使います。



患者さんは日々の生活・訓練の中でリハビリを行います。

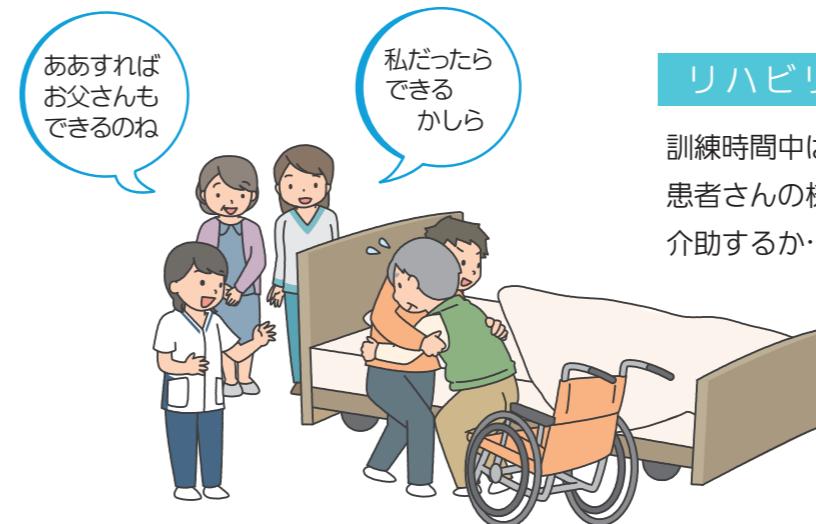
また、ご家族の皆さんにも、さまざまな場面を通してリハビリに参加していただきます。

リハビリ訓練の見学・介助方法の練習

訓練時間中は見学が可能です。

患者さんの様子、職員の介助の様子、自分だったらどう介助するか...などを考えながら見学してください。

また、介助指導の際は、スタッフが介助方法をお伝えしますので、一緒に練習を行いましょ。



退院へ向けて

	患者さん・ご家族	病棟スタッフ
退院前	<ul style="list-style-type: none"> ● 退院先の決定 退院先に応じて、より具体的に生活をイメージしながら退院準備を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ● 退院先の環境調整 家屋調査・家屋改修工事・福祉用具・福祉サービスの検討など ● 退院先を想定した 外出・外泊訓練・介助指導 
	<h3>家屋調査</h3> <p>患者さんがご自宅で生活しやすいように、家屋改修が必要になる場合があります。そこで当院のリハビリスタッフ、医療相談員、改修業者、福祉用具業者、ケアマネジャーらのご自宅を訪問して家屋調査を行い、手すりの取り付け位置や段差の解消といった提案をさせていただきます。</p> 	
	<h3>外出・外泊訓練 ※ 何回か実施</h3> <p>病院で行った練習をご自宅で試したり、福祉用具の検討を行います。外出・外泊の際に気になった点があれば、スタッフへお尋ねください。</p> 	
	<h3>退院前カンファレンス</h3> <p>自宅退院前に、患者さん、ご家族、当院のスタッフ、ケアマネジャーや各種介護サービス事業所のスタッフが集まって情報交換・意見交換を行い、患者さんが退院後に利用する医療・介護サービスについての検討を行います。</p> 	
<h3>退院</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 退院時訪問・退院後訪問 必要に応じて退院日同行訪問や退院1～2ヵ月後の訪問を行い、生活状況の確認やアドバイスを行う 		

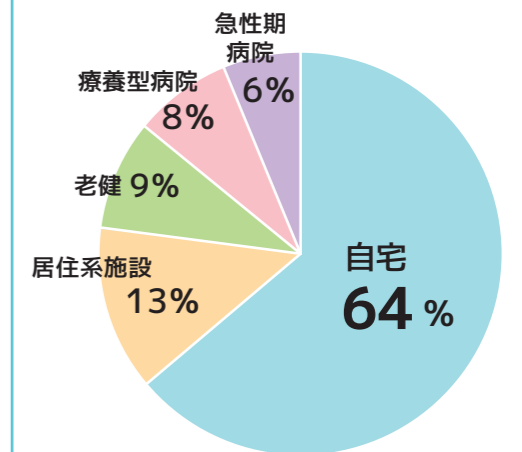
医療相談員が退院をサポート

入院期間は思った以上に早く過ぎていきます。患者さんの状態によって退院までの期間は異なりますが、「退院が決まってから」ではなく、入院当初から少しずつ準備をすすめていくことが大切です。担当の医療相談員が、患者さんやご家族がスムーズに退院の準備をすすめられるよう、退院後の生活に向けて起こる悩みや困りごとのご相談をお受けしています。



医療相談員
(後列左から) 樽井・山下・森澤
堀内・杉谷・石見・高塚

最終退院先 (2022年1月～12月)



※ 居住系施設… サービス付高齢者住宅、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム(住宅型・介護付)、グループホーム、ケアハウス、介護医療院など

生活を想定した退院支援

動作の練習以外にも、退院後に気にしなければならない問題はたくさんあります。こうした日常生活に関わる問題の解決も、多職種によるチームでサポートします。一緒に退院に向けた準備を進めていきましょう。



病院内風景

西館



5階	院内コンビニ 生活彩家 喫茶フルール 大浴場	↑↓	
4階	介護老人保健施設 花の丘 通所リハビリ	↑↓	リハビリ館
3階	介護老人保健施設 花の丘 花の丘事務室	↑↓	大会議室
2階	西館2階病棟	↑↓	リハビリ 訓練室
1階	ウイル (健診) ウイル (フィットネス)	↑↓	防災 センター
			本館2階病棟
			本館1階病棟 病院1階受付

病院内風景

2階



作業療法室

理学療法室



生活のさまざまな場面を想定した訓練が行える
作業療法室



リハビリ訓練機器

1階



病院玄関



病院1階受付



駐車場



スタッフセンター (本館1階)



プリペイドカード機
入院中現金を持ち歩かずに済み便利です。



洗濯室
車いすのまま操作できる洗濯機・乾燥機があります。



言語療法室



言語集団訓練室



中庭



食堂・談話室 (本館1階)



廊下 (西館2階)

広く設計された廊下では、車いすが十分にゆとりをもって離合し、行き来することができます。杖歩行の練習も安心して行えます。



家庭訓練用浴室

病院内風景



病室（4人用）



ウォシュレット付トイレ
左麻痺の患者さん用 右麻痺の患者さん用



病室（個室）

5階



シャワーチェアで入浴できる機械浴を備えた大浴場



喫茶“フルール” 広島市街が一望できます



入院中に必要なものが揃う院内コンビニ“生活彩家”
バーコード決済、電子マネー、クレジットカードをご利用いただけます。



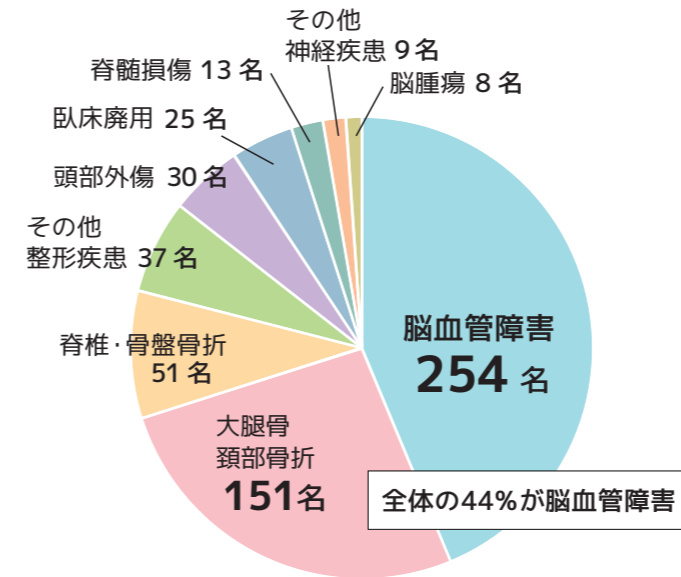
東京の三軒茶屋、広島の本通り・袋町等に店舗を持つ専門店「OBSCURA」のコーヒーを、コンビニ価格でご提供しています。
喫茶でも「OBSCURA」の豆を使用しています。

統計データのご紹介

2022年1月～12月の患者さんのデータをご紹介します。

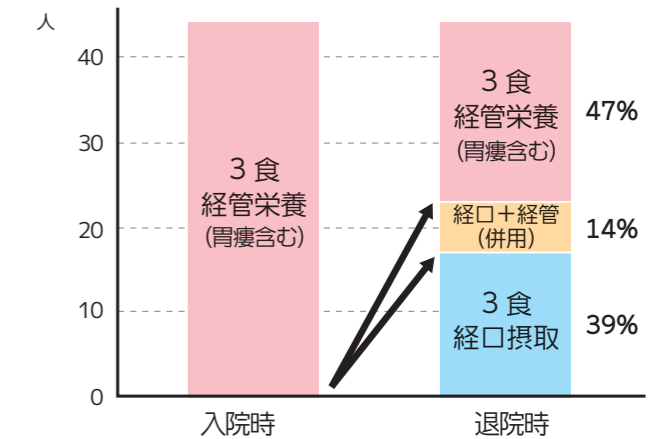
※この統計は2022年の退院患者さん全体の傾向であり、すべての方が同様の経過をたどるわけではありせんので、ご了承ください。

疾患別患者数（578名）



経管栄養の改善（44名）

※入院時の栄養経路が経鼻胃管チューブ(40名)・胃瘻(4名)の方のみ

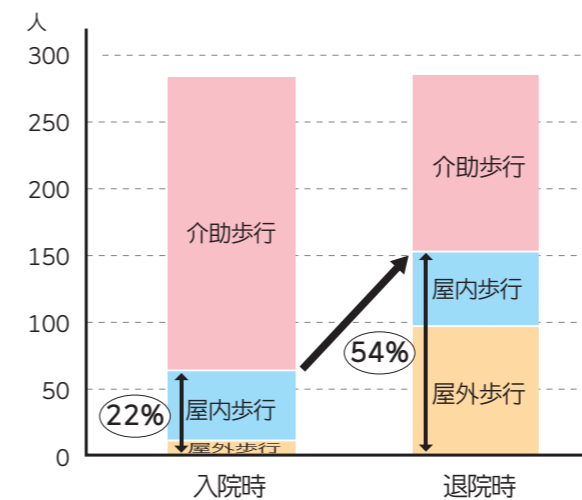


※嚥下グレード1～3を経管栄養、4～6を経管+経口、7～10を経口摂取とした。

※入院時に意識障害のあった方もすべて含む。

経管栄養とは胃まで入れた管に必要な栄養や水分を注入すること、経口摂取とは口から食事をとることをいいます。

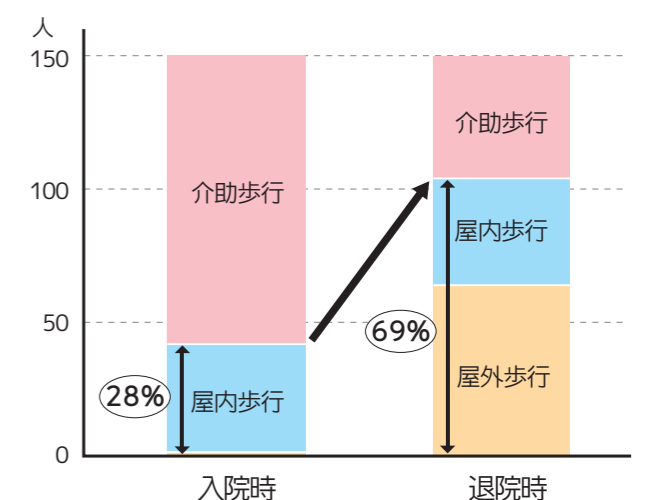
歩行の改善①（脳血管障害：285名）



※屋内を監視または口頭指示で50m歩行可能な状況を屋内歩行、屋外を監視以上で歩行可能な状況を屋外歩行、手つなぎ歩行以下を介助歩行とした。

※%は屋内歩行+屋外歩行の数字を示している。

歩行の改善②（頸部骨折：150名）





当院は、地域での リハビリテーションを支援します

西広島リハビリテーション病院では、退院後も皆さんのご希望や状況に応じて最適なりハビリをご提供できるよう、さまざまなサービスをご用意しています。退院前から計画を立て、退院後も継続的にリハビリテーションを行えるようにしましょう。

介護保険を使う	自宅でリハビリを受けたい方	西リハ 訪問リハビリステーション
	通所リハビリで短時間 (1 ~ 2 時間) みっちりリハビリを受けたい方	西リハ 短時間通所リハビリテーション
	通所リハビリで1日 (6 ~ 7 時間) のんびり過ごしながらリハビリを受けたい方	医療法人社団 昭和会 介護老人保健施設 花の丘 ●通所リハビリテーション ●言葉のケア
	短期間入所 (ショートステイ) しながらリハビリを受けたい方	医療法人社団 昭和会 介護老人保健施設 花の丘 ●短期入所療養介護 (ショートステイ)
介護保険を使わない	介護保険を使わず、通院してリハビリを受けたい方	医療法人社団 昭和会 西広島リハビリテーション病院 外来へ通院してリハビリを行っていただけます。(医療保険が適用されます)
	トレーナーと一緒に自主トレーニングをしたい方	WILL フェリスネット健康増進センター ウィル

短期入院プログラム
上肢麻痺の改善を目指す

ニューロフィフティーン
NEURO15
(TMS 治療 + 集中的リハビリ)

主に、発症後 1 年以上の生活期の方を対象とした治療です。

東京慈恵会医科大学で開発された磁気刺激治療 (TMS 治療) と集中的作業療法を組み合わせた新しい治療法です。リハビリ訓練だけでは改善が難しくなった上肢麻痺の改善を目的として、2 週間の入院プログラムを行います。

※ まず治療の適応となるかどうかの診察を受けていただき、適応となった方に治療を受けていただいています。

西リハ 訪問リハビリステーション

医療保険 | 介護保険 | 介護予防

回復期リハビリテーション病棟で研鑽した理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、かかりつけの医師の指示に基づいてご自宅を訪問し、ご利用者さまのニーズに沿ったリハビリテーションを提供します。

主なサービス内容

- 日常生活動作の練習 ●外出練習 ●自主トレーニング指導
- 嚥下訓練 ●コミュニケーション訓練 ●趣味活動の獲得
- 住宅改修案 ●福祉用具の選定 ●装具の必要性

ご相談受付 TEL (082)921-3230 FAX (082)921-9250
(病院代表番号)

西リハ 短時間通所リハビリテーション

介護保険 | 介護予防

主なサービス内容

介護保険を利用した短時間通所リハビリテーション (1 ~ 2 時間) です。専門のリハビリ職員によるマンツーマンでの個別リハビリを受けることができます。

※ 送迎車運行あり (佐伯区近辺にお住いの方、見守り歩行以上ができる方が対象です)

ご相談受付 TEL (082)921-3230 FAX (082)921-9250
(病院代表番号)

WILL
フェリスネット健康増進センター ウィル

政府管掌健康保険生活習慣病予防健診受託機関
厚生労働大臣認定健康増進施設

主なサービス内容

- メディカルフィットネス ●健康診断・人間ドック
- 婦人科検診・オプション検診 ●各種スポーツリハビリ 他

ご相談受付 0120-109687 TEL (082)924-1116 FAX (082)921-9314

花の丘 介護老人保健施設

主なサービス内容

- 入所
施設に入所いただき、医師や専門職員の指導のもと、食事や入浴などの生活援助をはじめ、健康管理・リハビリテーション、レクリエーションなどのサービスを提供します。
- 短期入所療養介護 (ショートステイ)
ご家庭で介護をされる方の急用や旅行、介護疲れで一時的に介護ができない場合など、短期間で入所と同じサービスを受けることができます。
- 通所リハビリテーション
ご家庭で療養されている方に日帰りで通っていただき、健康チェック、日常生活介護、リハビリテーション、レクリエーションなど楽しい時間を過ごしていただけます。
- 言葉のケア
失語症・構音障害などの方を対象に、安心して話せる場を提供します。症状に合わせたグループでの会話練習などを受けることができます。

ご相談受付 TEL (082)924-1187 FAX (082) 921-9111

とも 居宅介護センター

6 名のケアマネジャーが在籍しています (2023 年 7 月現在)。ケアプランの作成や介護サービスの紹介・調整など、介護保険に関わるご相談に対応します。

ご相談受付 0120-089217 TEL (082)921-8611 FAX (082)921-3292

西リハ 情報箱

家でも出来る運動・健康レシピ、西リハの様々な情報を皆さんに発信しています。

アクセスはこちらから